

# 公共交通総合連携計画の概要

八戸市地域公共交通総合連携計画は、路線バスをはじめとした乗合公共交通のサービス内容を「よくする」ことはもちろんですが、そうすることにより、魅力的で活力ある地域社会の実現につなげるとともに、より多くのひとたちにその現状を見つめなおしてもらい、「育てる」という意識を持ってもらうことで、公共交通という地域資源を、次代を担う郷土の子どもたちに引き継ぐことを目的に、平成21年3月に八戸市が策定しました。計画の実施期間は、平成21年度から平成24年度までの4年間となっています。

## 基本理念 ~八戸市地域公共交通総合連携計画が目指すもの~

1. (クルマほどではないけれど)「意外と使えるね」「迷わず乗れるよ」と感じられる公共交通サービスを実現します。
2. 地域・交通事業者・八戸市が三位一体で地域公共交通を見つめなおす、育て、次世代に引き継ぎます。

### 基本方針

#### 基本方針1

路線バスネットワークの「階層化」と「育てる公共交通」(協働交通)のスキームづくり

#### 基本方針2

市内幹線軸の活性化

#### 基本方針3

市民や来訪者の交通手段として「選ばれる」路線バスへの転換

### 計画の目標

#### 基本目標1

公営・民営交通の連携、地域に適した運営・運行形態による移動手段の確保

#### 基本目標2

市内幹線軸での高頻度サービス確保と「信頼性」向上

#### 基本目標3

市民や来訪者にとって「使いやすい」路線バスの仕組みの整備

## 目標達成のための事業と実施主体

### 事業1 市内幹線軸の便利さ向上戦略

- 1-1 市内幹線軸等間隔運行・共同運行化プロジェクト  
【八戸市交通部、南部バス(株) (八戸市)】
- 1-2 小型乗合交通ビジネスモデル化プロジェクト  
【八戸市タクシー協会 (八戸市)】
- 1-3 等間隔運行路線情報戦略プロジェクト  
【八戸市交通部、南部バス(株) (八戸市)】

### 事業2 「育てる公共交通」(協働交通)構築プロジェクト

- 【八戸市地域公共交通会議 (運営・運行主体:市民・一般乗合旅客自動車運送業者等)】

### 事業3 手軽に乗れるバスサービス戦略

- 3-1 運賃体系再構築プロジェクト  
【八戸市交通部、南部バス(株)、十和田観光電鉄(株) (八戸市)】
- 3-2 企画乗車券企画・商品化プロジェクト  
【八戸市交通部、南部バス(株)、十和田観光電鉄(株) (八戸市)】

### 事業4 まちなか公共交通「わかりやすさ」倍増戦略

- 4-1 「バスマップはちのへ」発行プロジェクト  
【八戸市、八戸市交通部、南部バス(株)、十和田観光電鉄(株)】
- 4-2 路線ナンバリング設定プロジェクト  
【八戸市交通部、南部バス(株)、十和田観光電鉄(株) (八戸市)】
- 4-3 来街者対策バス情報案内プロジェクト  
【八戸市】

# 八戸市地域公共交通活性化・再生総合事業 平成21年度実施予定事業の概要 ( 検討・企画ベースのみの事業は除く )

## 市内幹線軸バス路線の便利さ向上！

### 等間隔運行路線情報戦略プロジェクト

等間隔運行路線の主要停留所において、時刻表等の掲出方法を改善するほか、周知方法の工夫を図り、幹線軸バス路線の利便性をアピールする。

## 「地域の生活に使える」公共交通モデルへの転換！

### 「育てる公共交通」(協働交通)構築プロジェクト

主に市単独補助路線などを対象に沿線市民等の積極的関与を前提として必要不可欠な「移動確保」を図るとともに、沿線市民等やサービスプロバイダー(乗合交通事業者)による「努力」を還元できるような支援スキームを確立する。



「育てる公共交通」実施イメージ

## 「手軽に乗れる」バスサービスの実現！

### 企画乗車券企画・商品化プロジェクト

小グループで利用可能なお得感のある一日乗車券などの商品を企画し、期間・地域限定での試行を行なう。

## まちなか公共交通の「わかりやすさ」倍増！

### 「バスマップはちのへ」発行プロジェクト

3事業者共通のバスマップを発行し、試供的に転入者等に提供するとともに、モビリティ・マネジメント・ツールとしての活用方策を検討する。

### 路線ナンバリング設定プロジェクト

バスマップに掲載している路線ナンバリングにあわせて、バスの行先表示(LED・方向幕)等を改修・更新する。

